

# 福祉プラザなえぼだより

(苗穂地区福祉のまち推進センター発行)

■〒060-0031 ■中央区北1条東10丁目15-9  
■TEL 011-261-3669 ■FAX 011-221-7367  
■メール ch.naebo@city.sapporo.jp 苗穂まちづくりセンター内

《この広報誌は、札幌市中央区役所のホームページ<http://www.city.sapporo.jp/chuo/>からもご覧いただけます。》

## 苗穂地区の取り組み

苗穂地区福祉のまち推進センター（運営委員長 相川省二苗穂連合町内会会長）は、誰もが安心して暮らせる地域社会をつくることを目的として、平成8年に中央区内で最初に開設されました。

当地区の「福まち」は、町内会役員さん、民生委員・児童委員さんなどによって構成され、連合町内会や地区社会福祉協議会などと一体的に活動し、単身高齢者の見守り、子育て支援、世代間交流、広報誌の発行など、様々な事業を展開しています。

今号では、福まちに係わる最近の話題をご紹介しますとともに、平成25年度に実施された連合町内会や関係団体の福まちに関連する事業の写真などを掲載し、この一年を振り返りたいと思います。

### ◆ 苗穂第1町内会の「見守り活動」について

苗穂第1町内会では、平成24年度から「単身高齢者世帯の増加による孤立死」の問題を大きく取り上げ、「町内会からひとりの孤立死を出さない」ことを目的に、平成24年9月に福祉推進委員会を設立しました。

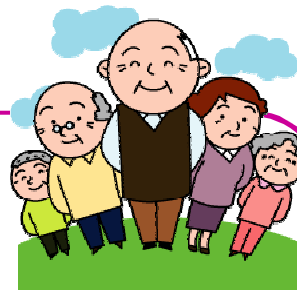
その後、町内の約400世帯を対象にアンケート調査を行い「見守りを希望する方」と「見守り活動に協力できる方」の把握を行いました。その結果、14名の方から見守りを希望するとの声があり、27名の方から見守りに協力できるという回答がありました。

平成25年10月に開催した役員会では「見守り・安否確認活動のすすめ方」について、中央区社会福祉協議会より説明を受け、その後、見守り対象者の情報を集約した「ふれあいカード」や「活動記録カード」の整備を行い、今年2月には福祉推進委員会を開催し、見守り希望者に対して複数の協力者の割り当てを決めま



した。今後は、見守り希望者への声かけや郵便物等が溜まっていないかのチェックなど、さりげない見守り活動を進めていく予定です。

これらの取り組みが評価され、苗穂第1町内会は、平成25年度「見守り・訪問」活動のモデル町内会として、中央区社会福祉協議会より指定を受けました。



## ◆ 合同定期総会〔平成25年5月15日〕

苗穂地区社会福祉協議会、苗穂会館運営委員会、第13苗穂祭典区の合同総会が苗穂会館で開催され、24年度の事業報告・決算報告、及び25年度の事業計画案・収支予算案が審議されました。総会終了後は、中央小学校の遠藤校長先生、神教頭先生のほか3名の先生方と小笠原PTA会長を招いて懇親会が行われました。



## ◆ 第3回介護予防調整会議〔平成25年7月8日〕

中央区第1地域包括支援センター、介護予防センター北一条等の主催により、連合町内会役員を対象として苗穂会館で開催され、25名が参加しました。

会議では、地域の高齢者が要支援・要介護状態になることを予防するために利用できる「二次予防事業」について説明がありました。



## ◆ 第4回サマーフェスタ苗穂&こども盆踊り(高齢者招待事業)〔平成25年7月8日〕

民生委員・児童委員協議会(鎌田勝幹会長)の協力により、苗穂会館南側広場で開催された「サマーフェスタ苗穂&こども盆踊り」にひとり暮らしの高齢者38名を招待し、縁日コーナー等を楽しんでいただきました。また、介護予防センター北1条などの協力により、「介護予防PR・相談コーナー」を設置し、お年寄りの相談などに対応しました。

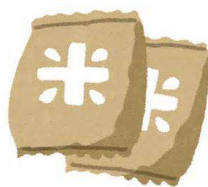
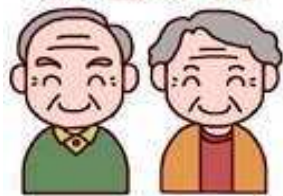


## ◆ 敬老祝い品の贈呈〔平成25年9月〕

苗穂連合町内会と社会福祉協議会の共同行事として、民生委員・児童委員協議会の協力により、苗穂地区にお住まいの76歳以上の方325名へ、敬老の意を表してお祝い品（お米券）を贈呈しました。

また、この機会を利用して、日頃地域との交流が少ない高齢者の安否確認も行いました。

敬老の日



## ◆ 第3回健康づくり・体力測定会〔平成25年10月30日〕

苗穂連合町内会と社会福祉協議会の主催で、体育振興会、民生委員・児童委員協議会および中央区第1地域包括議会などの専門機関の協力により、40歳以上の地域住民を対象に開催され、血管年齢、握力、片足立ちテストなど6項目について測定を行いました。

専門機関の職員からは、測定結果に対する注意すべき点のアドバイスや「健康づくりと認知症予防」に関する講話があり、参加者の生活改善や健康管理の一助となりました。



## ◆ 秋のふれあい旅行〔平成25年11月5日〕

苗穂地区社会福祉協議会の主催、民生委員・児童委員協議会の協力により、秋のふれあい旅行が開催されました。この催しは65歳以上の一人暮らしの方を対象に、毎年日帰り温泉旅行を行っているもので、今回の行き先は朝里川温泉の「宏楽園」でした。

参加した31名の皆さんは、美肌の湯と言われている温泉で汗を流した後、昼食とビンゴゲームなどで楽しい一日を過ごしました。



## ◆「地域ぬくもりサポートモデル事業」について



地域ぬくもりサポートモデル事業とは、日々の暮らしの中で支援を必要としている障がいのある方と、お手伝いをすることができる地域の方々（地域サポーター）をつなぐ仕組みづくりに取り組む事業です。



支援内容は、外出の手伝い（車を使わない学校・施設への送迎、買い物の付き添いなど）、家事の手伝い（料理、掃除、洗濯など）、暮らしの手伝い（庭仕事、雪かきなど）、話し相手等々、概ね1時間半程度の支援が対象です。

1コインボランティアで、1回の支援に対して500円を利用者から地域サポーターへ直接支払っていただきます。

利用者・地域サポーターともに、あらかじめ、地域ぬくもりサポートセンターに登録し、1時間程度の研修を受講していただきます。支援を利用したい方・協力したい方は、下記までご連絡をお願いいたします。



《地域ぬくもりサポートセンター》

札幌市中央区南9条西13丁目1-40 社会福祉法人あむ法人事務局内

電話・FAX：011-206-6511 E-mail：nukumori@amu.or.jp

開設時間：9時～17時（月曜日～金曜日）※土日祝日及び12月28日～1月3日は休み

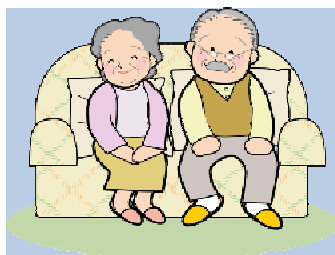
## ◆「シニア世代のための生活便利帳」について

札幌市が、高齢者の健康増進や高齢者福祉制度の周知のためにお渡ししていた敬老手帳は、平成26年1月から「シニア世代のための生活便利帳」にリニューアルされました。

これは、従来の敬老手帳の対象年齢が65歳以上の方に限定されていた点や、お渡しできる要件を確認する必要があった点を改善することが目的です。

新たな内容として、介護予防教室や健康づくり、ボランティア、高齢者向け住宅等、提供する情報が充実したほか、切抜いて使用する「緊急連絡カード」も掲載されました。

また、体育館やパークゴルフ場、文化施設等を優待料金で利用できる情報も載っており、優待時の確認については運転免許証や保険証等で行うこととなります。



なお、従来の優待時確認用カードは廃止となりますが、現在お持ちのカードについては今後も有効です。

【配付場所】

市役所3階高齢福祉課、区役所、老人福祉センター、まちづくりセンター

【問合せ先】

札幌市保健福祉局高齢保健福祉課 Tel 2 1 1 - 2 9 7 6